商工労働観光課　地域おこし協力隊

児島秀明

森町の新たなアクティビティがスタート！

私の業務は、森町に新しい体験プログラムを企画し、それを実際にガイド（ご案内）すること。

わが町には「駒ヶ岳」という活火山がありますので、地域の方々は勿論のこと、来訪者の方々にも駒ヶ岳の恵みに触れて頂き、日本では自然災害が日常化しつつあることも含め、防災の要素も交えた、まさに森町にとって新しい取り組みを複数企画しました。そしてこれらの総合受付窓口は「森観光協会」となりましたので、町民の皆様にご報告させて頂きます。

新しい体験プログラムのご紹介

★森町ノルディックウォーク体験

駒ヶ岳の赤井川地区にある植林エリアを、専用ポールを使って約１時間半散策するツアーです。

自然を満喫しながら、防災についても学ぶことができます。



坂道を歩ける方なら、小学生から大人まで気軽に参加でき、健康づくりや自然散策にもおすすめです。

参加人数は４名から最大 40 名まで

森町の自然を感じながら、楽しく歩いて防災も学んでみませんか？

問商工労働観光課・森観光協会　☎7-1286

社会教育課　地域おこし協力隊

内谷正文

演劇を通して自分を表現する力を育てる

今年６月から、鷲の木小学校で「芸術プログラム」に取り組んでいます。全校児童 25 名を対象に、演劇で培ってきたノウハウや手法を取り入れ、自己表現力やコミュニケーション力を育む活動を行っています。

表現するって。生きる力になる。



自分で創る、自分のひとり芝居

現在取り組んでいるのは、「自分で創る、自分のひとり芝居」。日頃感じていることや身近な出来事、想像したことなどを自分の言葉で表現し、声や身体を使ってひとつの作品に仕上げます。活動を重ねる中で、子どもたちの文章力や想像力、ものの見方に、先生方からも驚きの声が聞かれています。

来年２月には集中してプログラムを行い、最終日には地域の方々にもご覧いただける発表の場を予定しています。

今後は、幼稚園や小学校、さらに中学校へと活動を広げ、子どもたちが「自分らしく表現し、人とつながる力」を育む機会を森町全体につくっていきたいと考えています。子どもたちの表現する力を育てることは、これからの森町を担う「人を育てる」こと。

芸術を通して、人が育つ町をつくっていきたいと思います。

問社会教育課［社会教育係］　☎2-2186